科目名	英米文学研究			ナンバリング	COM252	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	小池久恵	担当教員					

授業の概要	英米の文学作品の中から、イギリス小説の『オリヴァー・ツイスト』、アメリカ演劇の代表作『セールスマンの死』他を取り上げる。作品の構造を綿密に分析しながら、ストーリー、プロット、キャラクター、テーマ、表現形式の特徴などを適切に読み取る。						
到達目標	①ディケンズの代表的作品について、時代背景とストーリーの関係・キャラクター・プロットを詳細に説明できる。 ②アーサー・ミラーの作品について、作者の体験や当時の社会問題と関連づけて説明できる。 ③授業で取り上げた作品に関する考えをまとめ、文学的・社会的視点から自身の作品解釈を述べることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	学習内容を整理し、重要事項は参考文献に当たり理解を深めること。 また補助教材として映像資料を用いる。ただ鑑賞するのではなく、メモを取りストーリーの要点をまとめる作業を習慣づけること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①ディケンズの生涯、主要作品、主要テーマを説明できる。 ②ミラーの生涯、主要作品、主要テーマを説明できる。 ③各作品のプロットとキャラクターを整理して、自身の考えをまとめることができる。	①ディケンズの小説について、時代・ストーリー・キャラクターを関連付けて詳細に説明できる。 ②ミラーの戯曲の特色を理解し、作者の体験や当時の社会問題と関連づけて説明できる。 ③各作品について、文学的・社会的視点から自身の解釈を述べるができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		30%
授業態度・授業への参加			○	○			10%
まとめテスト	○	○	○	○	○		60%

課題、評価のフィードバック	各回で与えられる課題や小レポートの添削・返却及び解説をおこなう。
---------------	----------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	授業で取り上げる作品と作家の情報を整理する。	
	第2回	『オリヴァー・ツイスト』(1)	作家チャールズ・ディケンズの生涯と代表的作品についてまとめる。	
	第3回	『オリヴァー・ツイスト』(2)	作品の時代背景とストーリーの関係について考える。	
	第4回	『オリヴァー・ツイスト』(3)	作品のキャラクターとプロットについて説明する。	
	第5回	『オリヴァー・ツイスト』(4)	作品のテーマについて作者の体験や当時の社会問題と関連づけて捉える。	
	第6回	『オリヴァー・ツイスト』(5)	作品に関するこれまでの考えをまとめ、自身の作品解釈をまとめる。	
	第7回	『オリヴァー・ツイスト』(6)	作品に関するこれまでの考えをまとめ、自身の作品解釈をまとめる。	
	第8回	『セールスマンの死』(1)	作家アーサー・ミラーの生涯と代表的作品についてまとめる。	
	第9回	『セールスマンの死』(2)	作品のキャラクターとプロットについて説明する。	
	第10回	『セールスマンの死』(3)	作品の時代背景とストーリーとの関係について考える。	
	第11回	『セールスマンの死』(4)	作品のテーマについて作者の体験や当時の社会状況と関連づけて捉える。	
	第12回	ミュージカル作品(1)	作品の時代背景とストーリーとの関係について考える。	
	第13回	ミュージカル作品(2)	作品のキャラクターとプロットについて説明する。	
	第14回	ミュージカル作品(3)	作品のテーマについて歴史・社会、さらにはアメリカ文化の特質と関連づけて捉える。	
	第15回	作品研究まとめ	これまでの学習内容を振り返り、作品のテーマや表現形式をふまえて、ストーリー、プロット、キャラクターについて述べる。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方	講義が中心だが、毎回授業内容にそくしたワークシートの課題に取り組む。			
授業外学習の指示	各回で取り上げる作品や配布資料等を読んで予習しておくこと。 授業内容を振り返り、各項目の要点をまとめておくこと。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	プリントを使用する。授業で取り上げる作品はいずれも文庫化されているので、各自入手すること。
参考書	授業時に紹介する。
参考URLなど	
その他	